



衆議院議員 山崎 誠

山崎誠政策研究所通信

批判から提案、未来を築く政治へ。

— 第11号 —



発行：山崎誠政策研究所通信編集委員会
〒227-0062 横浜市青葉区青葉台1-24-1-2F
TEL: 045-577-0500 FAX: 045-577-0525

発行日：2010年10月4日

菅総理大臣の所信表明演説。

10月1日、第176回国会が開会されました。会期は12月3日までの64日間。課題山積の日本にあって一刻の猶予も許されません。ねじれ国会を活かして、議論を尽くす国会で元気な日本の復活を目指します。

	ポイント
1. はじめに	<p>【有言実行内閣】 これまで先送りしてきた重要政策課題の実行 「経済成長」「財政健全化」「社会保障改革」の一体的実現 前提として「地域主権改革の推進」「主体的な外交の展開」</p>
2. 経済成長の実現	<p>【成長と雇用による国づくり】 供給者本位から消費者目線への転換 ・雇用増による消費の拡大、政府主導による「医療」「介護」「子育てサービス」「環境」における雇用拡大、雇用の安定と「新しい公共」の取組が社会の安定を生む ⇒「新成長戦略実現会議」</p> <p>【第1段階：円高、デフレへの緊急対策】 ・政府・日銀連係による為替介入、デフレ脱却 ・予備費約9200億円の執行、特に新卒の就職に力点、ワンストップで雇用を「つなぐ」、低炭素産業の新規立地を通して雇用を「守り」「創る」</p> <p>【第2段階：機動的対応】 補正予算編成 ・5つの柱：①雇用・人材育成、②新成長戦略の推進、③子育て、医療、介護、福祉、④地域活性化、社会資本整備、中小企業対策、⑤規制・制度改革 ・具体例：再生可能エネルギー利用拡大（全量買い取り制度導入、大規模太陽光発電、新エネ・省エネ設備）、国際医療交流拠点（ビザ・在留資格の取り扱い改善）、国内立地促進策（円卓会議で議論）</p> <p>【第3段階：新成長戦略の本格実施】 来年度予算編成と税制改革 ・「元気な日本復活特別枠」需要創造と雇用創出 ・法人課税の見直し ・イノベーションのための研究開発と人材育成</p>
3. 財政健全化と行政の無駄削減	<p>【財政運営戦略の実施】 ・2015年度までに基礎的財政収支の赤字を対GDP比で今年度の半分に、2020年度までに黒字化を達成</p> <p>【来年度予算編成】 ・449の事業を仕分け、2兆円の財源を確保 ・特別会計の事業仕分け ・マニフェストの実現、実現が難しい場合は説明を尽くす</p> <p>【行政改革、公務員制度改革】 ・より効率的にサービスを提供する体制作り、国家公務員の総人件費2割削減を一体で実現 ・国の出先機関の統廃合、各府省の機構・定員のスリム化</p>
4. 社会保障改革	<p>【改革の必要性】 多少の負担をお願いしても安心できる社会の実現 ・課題：安定した年金制度、十分な医療・介護・福祉サービス、孤立したお年寄り対策、乳がん・子宮けいがん対策、子どもの虐待・貧困対策、自殺者対策、社会保障の番号制度</p> <p>【与野党間の議論】 ・財源確保のための消費税を含み税制全体の議論</p> <p>【子ども・子育て支援の充実】 地域、国で大切に育てる ・高校の授業料実質無償化、子ども手当は現物給付と保育所整備など現物支給のバランスをとって拡充、幼保一体化 ・男女共同参画推進</p>

菅総理大臣の所信表明演説のポイントを左の表にまとめました。本格稼働する菅内閣、これまで先送りされてきた重要政策課題について政策を断行、結果を出すことが求められています。

「経済成長」「財政健全化」「社会保障改革」を一体的に実現しようというところが特徴となります。これまで、縦割りで考えられてきた分野を統合連携させることで、日本の抱える一連の課題を効果的に解決し

ようというもの。経済分野では、これまでの供給者サイドのロジックではなく、消費者目線で考えることを提唱していきま。経済成長について具体的に、緊急の円高、デフレ対策を打つとも

<p>5. 地域主権改革の推進</p>	<p>【一括交付金、権限委譲】 地域が主役となって特色ある産業振興、住民の要望に応じた社会サービスの提供 ・「ひもつき補助金」の一括交付金化、各府省の枠を超え自由度の高い交付金に再編 ・霞が関の発想に縛られない地域独自のモデルを構築 ・国の出先機関の事務・権限委譲について、年内を目標に検討</p>
<p>6. 国を開き未来を拓く主体的な外交の展開</p>	<p>【歴史の分水嶺における外交】 ・国民全体で考える主体的で能動的な外交を展開 ・国を開き世界の活力を取り込むとともに、グローバルな課題解決に貢献 ・真に役立つ実効的な防衛力整備のための防衛計画大綱の本年に見直し</p> <p>【日米同盟】 ・外交・安全保障の基軸 ・安全保障、経済、文化・人材交流の3本柱で深化・発展、日米協力、APECで具体策 ・課題はアフガニスタン・パキスタン支援、イランの核問題、気候変動、核軍縮・核不拡散等 ・普天間飛行場移設問題については5月の日米合意に取り組むとともに沖縄の負担軽減を実現</p> <p>【日中関係】 ・尖閣諸島は我が国固有の領土、中国には国際社会の責任ある一員として適切な役割と言動を期待 ・戦略的互惠関係を深める日中双方の努力が不可欠</p> <p>【東アジア地域の安全と繁栄に向けて】 ・国際会議を活用(生物多様性条約COP10、APEC首脳会議) ・かけ橋となるEPA・FTAを重視、環太平洋パートナーシップ協定交渉等への参加、アジア太平洋自由貿易圏構想を目指す ・東アジア共同体構想に実現を見据えて国を開き交渉を進める ・北朝鮮については拉致、核、ミサイルといった諸懸案の包括的解決、国交正常化、拉致被害者の一刻も早い帰国に向けて全力を尽くす。</p>
<p>7. 政治改革と議員定数削減</p>	<p>【カネのかからないクリーンな政治の実現】 ・企業・団体献金の禁止、国会議員の定数削減について党内で徹底議論年内に方針を取りまとめ、与野党協議</p>
<p>8. 結び</p>	<p>【政策の国会・熟議の国会】 国民に選ばれた国会議員が全力を尽くし、この国の政治を築く。</p>

に、「医療」「介護」「子育てサービス」「環境」といった分野を成長産業と位置付けて政府主導で後押し、雇用の拡大を実現します。まずは補正予算、そして来年度の予算編成をどのようにまとめるかがカギに

なり。農林水産業、エネルギー・環境政策に関する言及が十分でなかったのが問題ですが、今後、政調会の部門会議等の場で議論を深めていきま

携帯QRコード



★カメラ付き携帯電話をご利用の方は、左のQRコードをお読みいただくと専用サイトにアクセスできます。
 ★パソコンをお使いの方は、山崎誠のホームページまたはブログページからアクセスしてください。

※尖閣諸島問題についてご意見をお聞きしています

国政WEBアンケート

【民主党地域懇談会を毎月開催】

≪青葉区≫2010年10月30日(土)14:00~16:30
 会場:奈良地区センター

≪緑区≫2010年11月21日(日)14:00~16:30
 会場:十日市場地区センター

どうぞお気軽にご参加ください。参加ご希望の方は、下記の青葉台事務所までご連絡ください。

衆議院議員 山崎 誠

ホームページ:<http://makoto5050.net>

ブログ:<http://makoto5050.typepad.jp>

Twitter:「yamazakimakoto」で検索してください

e-mail:info-yamazaki@j05.itscom.net

□ 青葉台事務所

〒227-0062 神奈川県横浜市青葉区青葉台1-24-1-2F

TEL:045-577-0500 FAX:045-577-0525

□ 国会事務所

〒100-8982 東京都千代田区永田町2-1-2

衆議院第2議員会館1016号

TEL:03-3508-7741 FAX:03-3508-3061

プロフィール

1962年生。都立西高校、上智大学法学部法律学科卒業、青山学院大学大学院国際政治経済学研究科国際ビジネス専攻修士課程修了。(株)熊谷組、日揮(株)勤務。2006年3月より横浜市議員を2期務める。2009年8月の衆議院議員選挙に神奈川県第8区(青葉区・緑区)にて立候補、初当選。民主党神奈川県第8総支部長。常任委員会は2010年10月より環境委員会、内閣委員会を担当。横浜国立大学大学院環境情報学府博士課程後期在学中。青葉区桂台在住。

ご意見・ご相談などをお寄せください。

FAX:045-577-0525

お名前: _____

ご住所: _____

お電話: _____ FAX: _____

E-mail: _____

※匿名も可能ですがご連絡先をいただけませんと幸いです。頂いた個人情報厳重に管理し山崎誠の政治活動にのみ使用させていただきます。